

金型拘束焼き入れ製法を用いた オイルポンプロータ

用途

ディーゼル燃料供給用コモンレールシステムでフィードポンプに用いられるオイルポンプロータ

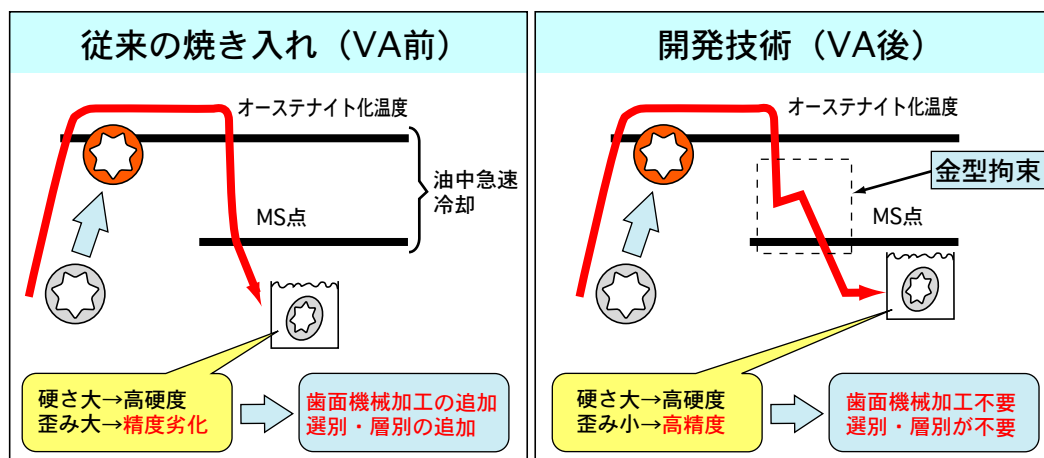


内容

・サイジング品並の高精度と焼き入れ品並の歯面硬さを歯面加工レスで達成。

経緯

- ・従来技術のサイジング後に焼き入れをする方法では、要求精度を満たす為には歯面の機械加工が必要で、コストが高くなる問題があった。
- ・焼き入れ途中のまだ硬化していないMs変態点以上の温度域で、金型内に拘束して冷却することで、安価に高精度と高硬度の両立させる新技術を開発。



VA効果

・歯面加工を要した従来製法品に対して、50%のコストダウンを達成。